

法人（事業所）理念		法人理念「繋がりを大切にし安心を提供する」				事業所理念「安心を基盤に自己実現を目指す」				
支援方針		臨床心理士・公認心理師が適切なアセスメントから、ひとりひとりに合わせた支援プランを作成し、将来を見据えた“いまを生きる”お子様の心と体の発達を目指します。そのために、小集団療育、個別療育、個別心理面接、個別言語訓練などを取り入れております。また、家庭・教育・医療・福祉等と連携しながら、お子様への直接支援だけでなくアウトリーチも含めた間接支援も行い、総合的にお子様の健やかな成長を支援します。重度知的障害のお子様から思春期ケアの必要なお子様まで幅広い方が利用していますので、強制ではなく知的理解を含めた自主性・主体性を尊重しています。								
営業時間		9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身辺自立（清潔・衣服・排泄・健康・安全・物の管理）などの生活の基本動作を獲得できるよう、知的理解、身体特徴、障がい特性などを踏まえ適切なツールを用いて支援します。</li> <li>・成育歴を踏まえ、家族構成等、環境などを考慮し、お子様が自身の健康（心と体）に気づき、安定した生活を送れるよう絵本や動画、手遊び、季節の歌、SST（ロールプレイ）などを用いて自己理解を深めます。</li> <li>・心と体の健康維持のため食育にも力を入れており、野菜やお米の収穫、食文化を学んだり、お弁当と一緒に食べることで社会性や、人とのつながりの楽しさを学びます。</li> </ul>								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動発達は一定の順序を連続的に進む事を理解した上で、個々の身体特徴をアセスメントし、課題に応じた取り組みを実施します（SART、運動トレーニング等）。</li> <li>・感覚統合については五感だけでなく、固有受容覚や前庭覚などの自覚にくい感覚も含めて発達が促せるよう、リトミック、運動トレーニングや、感覚統合訓練、創作活動等で支援します。</li> <li>・ほかに余暇活動中、円盤ブランコや、感覚統合グッズ、ボール、マットなど、自分が“したい”と思う運動ができるよう様々な道具を用意しております。</li> </ul>								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知は心理学的に“知覚・判断・想像・推論・決定・記憶・言語理解”などがあります。お子様ができるだけ理解、納得し、自己決定できるよう、以下の支援内容を行います。理解のために視覚支援ツール、スケジュール、工程表、文法課題（年長から）などを取り入れ、認知課題、創作活動、言語構音訓練、運動機能訓練等を行います。</li> </ul>								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語でのコミュニケーションは、知的水準も含め語彙力、構音機能、会話の一時的な記憶、アウトプット（適切な言葉、記憶から自分の気持ちに合う言葉を出すこと）が必要です。そのための語彙力の蓄積や、適切な表現の仕方、自分の気持ちの整理などを言語聴覚士による言語／構音訓練で行います（小集団と個別面接と両方あります）。また、子ども同士の関りにおいても、自他の気持ちを客観的に推察し整理できるよう意識しながら支援しています。</li> </ul>								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達心理学で社会性は「対人行動」「集団行動」「社会的欲求」「社会的関心」の4項目が定められています。まずは先生との豊かな心理的交流から、同年代との関りに移行し、小集団の中での自分の役割や立ち位置を学び、学校などの幅が広がったときの興味関心好奇心などを育てます。</li> </ul>								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面、電話、LINEなどによるお子様やきょうだい児の相談に応じています。</li> <li>・園、学校との連携により円滑に集団生活を送れるよう訪問支援を行います。</li> <li>・選択的登校（不登校）支援により、平日の居場所作りを行っています。</li> <li>・「かなえるaxy便り（広報誌）」やInstagramにて情報発信や子育て、思春期対応、障がい特性理解について周知、情報提供しています。</li> </ul>				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学、進級にあたっては移行支援会議に参加し、環境の変化に慣れるよう、学校との情報交換、検査結果の反映の仕方などを行います。</li> </ul>		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人敷地内で毎月第2日曜日に「ふれあい市」という直売祭を行い、こども達が作成したものを販売し地域交流を行っています。また鳥栖市周辺地域、久留米市のイベント等にも参加しています。</li> <li>・通院先のドクターやソーシャルワーカー、心理士との連携を行っています。</li> <li>・学校スクールソーシャルワーカーとの連携を行うことで、学校生活での適応に後方支援しています。</li> </ul>				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月2回、外部講師によるスタッフ研修を行っています。</li> <li>・年に数回、学術研究会等に参加し、知識、質の向上を図っています。</li> <li>・毎日のスタッフミーティングにより、支援内容、方法、スタッフ一人一人の立ち振る舞いや連携を確認しています。</li> <li>・月2回の企画会議を行い、支援プログラムの作成やお子様の状態把握、支援の方向性を検討しています。</li> </ul>		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎 月：誕生日会</li> <li>・定期的：避難、消防訓練、季節の行事、外出活動、調理活動、体験学習など。</li> </ul> ※いずれにおいても企画書を作成し、目的とねらいをもって活動しております。								

法人（事業所）理念		法人理念「繋がりを大切にし安心を提供する」		事業所理念「安心を基盤に自己実現を目指す」					
支援方針		臨床心理士・公認心理師が適切なアセスメントから、ひとりひとりに合わせた支援プランを作成し、将来を見据えた“いまを生きる”お子様の心と体の発達を目指します。そのために、小集団療育、個別療育、個別心理面接、個別言語訓練などを取り入れております。また、家庭・教育・医療・福祉等と連携しながら、お子様への直接支援だけでなくアウトリーチも含めた間接支援も行い、総合的にお子様の健やかな成長を支援します。重度知的障害のお子様から思春期ケアの必要なお子様まで幅広い方が利用していますので、強制ではなく知的理解を含めた自主性・主体性を尊重しています。							
営業時間		9 時	00 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※土曜の放課後等デイサービスにおける個別心理面接は保護者様送迎
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身辺自立（清潔・衣服・排泄・健康・安全・物の管理）などの生活の基本動作を獲得できるよう、知的理解、身体特徴、障がい特性などを踏まえ適切なツールを用いて支援します。</li> <li>・成育歴を踏まえ、家族構成等、環境などを考慮し、お子様が自身の健康（心と体）に気づき、安定した生活を送れるよう絵本や動画、手遊び、季節の歌、SST（ロールプレイ）などを用いて自己理解を深めます。</li> <li>・心と体の健康維持のため食育にも力を入れており、野菜やお米の収穫、食文化を学んだり、お弁当と一緒に食べることで社会性や、人とのつながりの楽しさを学びます。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動発達は一定の順序を連続的に進む事を理解した上で、個々の身体特徴をアセスメントし、課題に応じた取り組みを実施します（SART、運動トレーニング等）。</li> <li>・感覚統合については五感だけでなく、固有受容覚や前庭覚などの自覚にくい感覚も含めて発達が促せるよう、リトミック、運動トレーニングや、感覚統合訓練、創作活動等で支援します。</li> <li>・ほかに余暇活動中、円盤ブランコや、感覚統合グッズ、ボール、マットなど、自分が“したい”と思う運動ができるよう様々な道具を用意しております。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知は心理学的に“知覚・判断・想像・推論・決定・記憶・言語理解”などがあります。お子様ができるだけ理解、納得し、自己決定できるよう、以下の支援内容を行います。</li> <li>①理解のために視覚支援ツール、スケジュール、工程表、文法課題などを取り入れ、認知課題、創作活動、言語構音訓練、運動機能訓練等を行います。</li> <li>②SST（ロールプレイ含む）、心理劇的関りによるストレス対処や問題解決スキルの習得及び、共同作業を通じて意思疎通の訓練などを行います。</li> </ul>							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語でのコミュニケーションは、知的水準も含め語彙力、構音機能、会話の一時的な記憶、アウトプット（適切な言葉、記憶から自分の気持ちに合う言葉を出すこと）が必要です。そのための語彙力の蓄積や、適切な表現の仕方、自分の気持ちの整理などを言語聴覚士による言語／構音訓練で行います（小集団と個別面接と両方あります）。</li> <li>また、子ども同士の関りにおいても、自他の気持ちを客観的に推察し整理できるよう意識しながら支援しています。</li> </ul>							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達心理学で社会性は「対人行動」「集団行動」「社会的欲求」「社会的関心」の4項目が定められています。</li> <li>まずは先生との豊かな心理的交流から、同年代との関りに移行し、小集団の中での自分の役割や立ち位置を学び、学校などの幅が広がったときの興味関心好奇心などを育てます。</li> <li>小・中学生、高校生のお子様には、整理できない苛立ちや、はやる気持ちを理解し、思いやり、道徳性、創造性、人への信頼感をもって社会の中で人間関係を構築できるよう、個別心理面接、小集団SSTを行います。</li> <li>思春期対応の一環としては、性教育、SNS、インターネット、障がい特性との付き合い方もSST（個別面接）にて行います。</li> </ul>							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面、電話、LINEなどによるお子様やきょうだい児の相談に応じています。</li> <li>・園、学校との連携により円滑に集団生活を送れるよう訪問支援を行います。</li> <li>・選択的登校（不登校）支援により、平日の居場所作りを行っています。</li> <li>・「かなえるaxy便り（広報誌）」やInstagramにて情報発信や子育て、思春期対応、障がい特性理解について周知、情報提供しています。</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学、進級にあたっては移行支援会議に参加し、環境の変化に慣れるよう、学校との情報交換、検査結果の反映の仕方などを行います。</li> <li>・就職する際に移行支援会議に参加し、お子様の強みを生かしたアセスメントを助言致します。また、必要に応じて“わたしのトリセツ”を作成し、就職先への相談に応じます。</li> </ul>		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人敷地内で毎月第2日曜日に「ふれあい市」という直売祭を行い、こども達が作成したものを販売し地域交流を行っています。また鳥栖市周辺地域、久留米市のイベント等にも参加しています。</li> <li>・通院先のドクターやソーシャルワーカー、心理士との連携を行っています。</li> <li>・学校スクールソーシャルワーカーとの連携を行うことで、学校生活での適応に後方支援しています。</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月2回、外部講師によるスタッフ研修を行っています。</li> <li>・年に数回、学術研究会等に参加し、知識、質の向上を図っています。</li> <li>・毎日のスタッフミーティングにより、支援内容、方法、スタッフ一人一人の立ち振る舞いや連携を確認しています。</li> <li>・月2回の企画会議を行い、支援プログラムの作成やお子様の状態把握、支援の方向性を検討しています。</li> </ul>		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎 月：誕生日会</li> <li>・定期的：避難、消防訓練、季節の行事、外出活動、調理活動、体験学習など。</li> <li>※いずれにおいても企画書を作成し、目的とねらいをもって活動しております。</li> </ul>							